

西中の風

～ 継続と徹底～

伊丹市立西中学校長

垣内 修



新年あけまして
おめでとうございます
本年も どうぞ



よろしくお願い申し上げます



さて、1月10日より3学期がスタートしました。子どもたちの明るく元気な姿に会えたことをたいへんうれしく思います。

昨年も新型コロナウイルス感染症の影響により、年の始まりには予想もできない一年となりましたが、皆様の多大なるご支援、ご協力のお陰で、本校教育活動を進めてくることができました。本当にありがとうございました。2023年の卯年は、これまでの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になってほしい、そう強く願っています。そして、本年が穏やかながらも活力に溢れるように学校でも力を合わせて、引き続き感染拡大防止に努めていきたいと思ひます。

3学期はそれぞれの学年のまとめの学期であるとともに、卒業・進級という新しいステージへの準備をする学期です。教職員一丸となって教育活動の推進に努め、生徒の笑顔と成長のためにがんばりますので、ご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

3学期 校長式辞より

みなさん、あけましておめでとうございます。

令和5年、2023年の新しい年を迎えました。こうして今日、また、皆さんの明るく元気な姿に会えたことを、大変うれしく思っています。

今回の冬休みは、17日間という例年よりも長い休みでしたが、皆さん、有意義に過ごすことができたでしょうか？ きっと、冬休みならではの充実した毎日を過ごすことができていれば嬉しく思います。

さて、今日から三学期が始まりました。この三学期、登校する日数が1・2年生は52日、3年生にとっては42日間という短い学期ですが、昔から、「一月は“行く”、二月は“逃げる”、三月は“去る”」と言われます。それだけ三学期は短く、一月から三月まで、あっという間に過ぎて行くということを現しています。

また、中学校生活のまとめとしてとても大切な学期です。二学期の終業式で皆さんにお話ししましたが、それぞれの学年を通しての集大成の時期であり、次へ進級するための準備期間でもあります。この学期を、よく「0学期」と言われますが、3学期から次の学年が始まっている、という「意識と自覚を持って」学校生活を送って行くんだ、という決意の表れが、0学期という表現にこめられています。

そこで、この三学期を迎えるにあたり、1つ、皆さんにお願いしたいと思います。

それは、「みんなで、がんばる」「ともに、がんばる」ということです。

特に、3年生にとっては義務教育の最終学期であり、受験を控えた大切な時期でもあります。

よく「受験は団体戦」と言われます。学級の仲間が、互いに教え合い、互いに補い合い、支え合い、個人としての頑張りだけでなく、集団の力を結集して受験に望むことが、しいては、個人の目標とする進路を実現するためには、大切である事を言い表した言葉です。

3年生の皆さんの、進路希望の実現を心から願い、応援しています。3年にとっては、これまでの人生の最大の上り坂となります。自己の夢に向かって、この坂をどう昇るか。残された時間を大切に、「ともに、がんばり」乗り越えてほしいと思います。

また、1・2年生においては、それぞれの学年を通しての集大成の時期であり、進級するための準備期間でもあります。

部活動においても、春になってから頑張っても、地区を勝ち抜くことはできません。4月から、新しく迎える新入生から見て、「憧れの先輩」となれるように準備する、「自分磨きの学期」にしてください。

そして、1・2年生は、3年生の先輩の姿をしっかりと見つめながら、先輩になる、また、最高学年になる準備を進め、勉強や部活動、委員会活動に取り組んでいきましょう。

「みんなで、がんばる」「ともに、がんばる」

短くあっという間に過ぎてく三学期。中学校生活のまとめとしてとても大切な学期だからこそ、学級・学年の仲間が、そして西中の仲間が、互いに教え合い、互いに補い合い、互いに支え合い、個人としての頑張りだけでなく、集団の力を結集して、「思いやり」で満たされた温かい学校になってほしいと願っています。

三学期も、みんなで頑張りましょう。